

「家がいいね」 第225号

いせ在宅医療クリニック 広報月刊紙

2023. 2. 3



静かに節分を迎え、もう明日は立春です。暦と違う寒風の中春の兆しを街に探し徳川山の上社に咲く白梅を見つけました。これからが新年と考えて、まず筋目を立ててみましょうか。

私にとっての、「家がいいね」とは

自宅への訪問診療を恐縮がられる人が多いのですが、私自身は（失礼ながら）一軒一軒を訪ねることが本当に嬉しいことなのです。各家の雰囲気を感じ取り、ご本人や家族と対話が通う段階になると、さらに何って楽しくなるような気持ちです。自分は内向的と思っていましたし、病院医療の中では常に緊張がありました。いま訪問していると気遣いはあっても気疲れは有りません。各家は、みな違って、独自の味わいを感じます。自分の家に戻ると、そこも良いと思うようになりました。



家はホームでありハウスだけではなく感じていきます。変なことですがホームレスの状況にある人には、帰れぬ家の事情もありそうです。住める所とは、安全地帯のある家です。でも病を得ると、家が変わり、病院のほうで安全と考えると、帰るべき場所にならなくなります。まずホームに戻り多難でも元の安心を取り戻してほしい。在宅医療も一助となりたいたいものです。

金児竜太郎 医師の就任、ご紹介



40歳になったばかり。

伊勢赤十字病院で12年間勤務の糖尿病内科を先月に退職され、着任されました。写真は日赤HPより拝借。伊勢の生活も長く、今後は在宅医療の分野で、訪問診療に力を注いで頂きます。日赤内での癌患者さんの緩和ケアチームには、今後も参加して頂きますので心強いです。伊勢の在宅の地域連携を、遠藤と共に進めてまいります。

ホームページを新しくしたので、お知らせ



まずスマホで見やすくなりました。遠藤の顔写真も20年前のものでしたので訂正しました。外来は、今まで通り、ゆっくり行きます。

「聞く力」を加えるために



4月より新職員（心理士）が加わります。詳細はお待ち下さい。過去を悔い、未来に不安を抱えるだけでは、今が苦しくなります。時間をかけ、お聴きしましょう。

親指は大事なよ



あたし、ただいま指全体と、スプーンは使えます。さらにお箸が使えれば、グー！！隣り合う指以上に、各自に向かい合う親指は大事なのね。それを使う力も大切なよ。（人間の歩みも学んで行きます）

過去に広報紙をお届けしていた皆様、途絶えてしまい申し訳ありませんでした。再開いたします。



自宅での人生を
最期まで支援します

〒516-0805
三重県伊勢市御薊町高向 927
電話 0596-20-8104
ファクス 0596-20-8105
メール homecare@kr.tcp-ip.or.jp
<http://isezaitaku.com>



→バックナンバー閲覧可